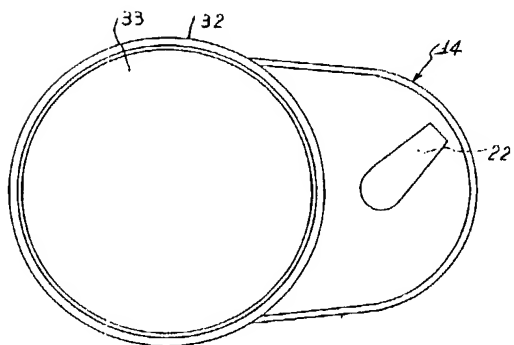
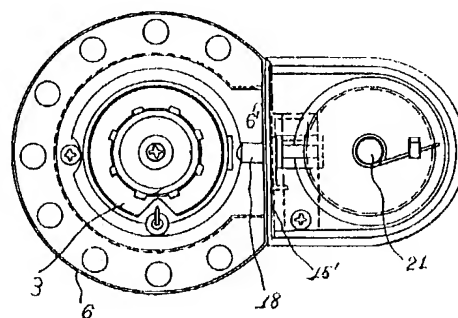


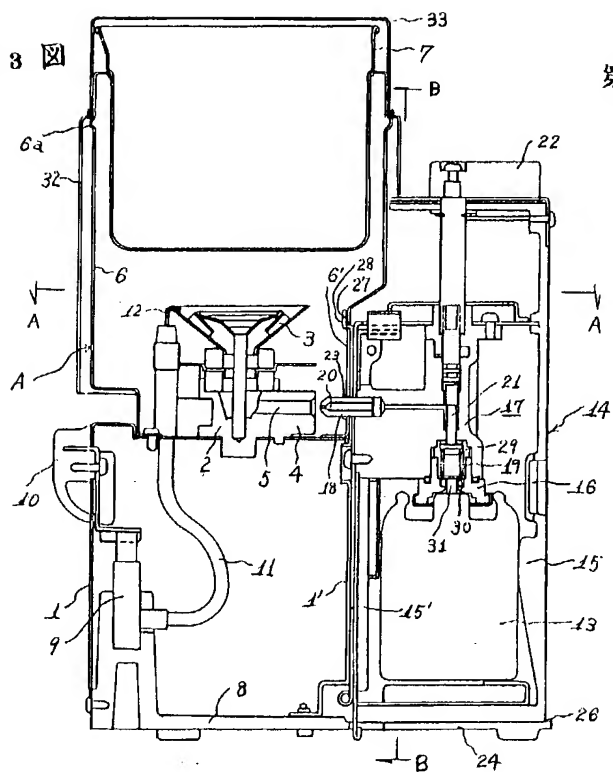
第 1 図



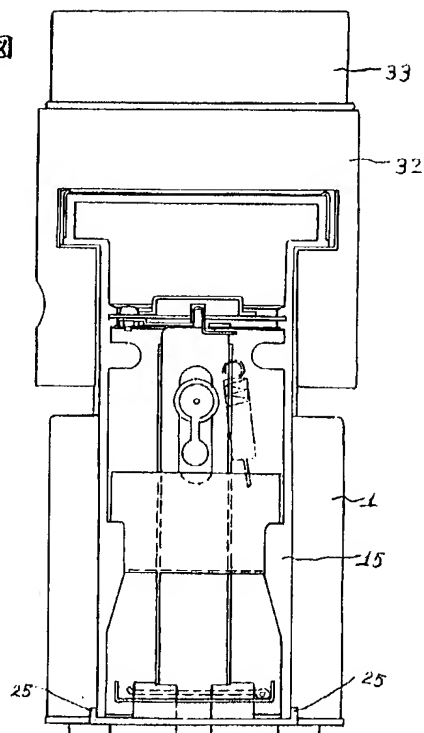
第 2 図



第 3 図



第 4 図



## ⑫ 公開特許公報 (A)

昭56—124818

⑮ Int. Cl.<sup>3</sup>

F 23 D 13/04

F 24 C 3/14

識別記号

庁内整理番号

6448—3K

7116—3L

⑬ 公開 昭和56年(1981)9月30日

発明の数 1

審査請求 有

(全 3 頁)

## ⑭ ガスコンロ

東京都台東区上野3丁目18番11号

⑯ 特 願 昭55—28964

⑰ 出 願 人 巴工業株式会社

⑱ 出 願 昭55(1980)3月7日

東京都中央区日本橋3—9—2  
(第2丸善ビルディング)

⑲ 発 明 者 石井邦彦

⑰ 出 願 人 株式会社アサヒベビー

千葉県さつきが丘2丁目10街区  
5号棟101号

東京都台東区東上野2—5—8

⑰ 出 願 人 株式会社青柳製作所

⑲ 代 理 人 弁理士 板橋清吉 外1名

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

ガスコンロ

## 2. 特許請求の範囲

中央にバーナーを有する筒体の上部に湯沸し器を載置できるようにし、該筒体の側面に下部に小型のガスポンペを出入自在にし且つガスポンペバルブ嵌合部及びガス噴射筒を側面に突出したバルブ機構を内挿したガス噴射機構部材を前記筒体に着脱自在にすると共に、ガス噴射筒の噴射孔を筒体のバーナーのガス混合管のガス通孔の中心に位置するようにして成ることを特徴とするガスコンロ。

## 3. 発明の詳細な説明

本願はキャンプ、ハイキング、ドライブ、特に高速道に入った時にパーキングエリアでは湯だけでる機械はほとんどなくドライブインの無い時等にぶつかつた時に幼児に与える牛乳又は粉ミルクをとかして与えようとする際に牛乳又は水を簡易に沸すことができるように

(1)

したことを目的とした小型のガスコンロに係る発明である。

今その実施例を述べれば筒体(1)は下部の筒体(1)の上面は中央にガスバーナー本体(2)を固定し、ガスバーナー本体(2)はバーナー(3)とガス混合管(4)とよりなりバーナー(3)とガス混合管(4)とは直角に形成されガス通孔(5)で連通されている。下部の筒体(1)の上部にはガスバーナー本体(2)を横う径の上部の筒体(6)が固定され上部の筒体(6)の上部高さは筒体(6)に湯沸器(7)を載置した時、湯沸器(7)の底部がバーナー(3)より一定間隔離れて位置する高さとするものである。又、筒体(1)の下部に合成樹脂又弾性のある金属板で製作した内厚の底板(8)を設け一部に圧電素子(9)を固定して設け、筒体(1)の側面に上下動自在に設けたツマミ(10)により操作できるようにする。圧電素子(9)の電導線(11)は筒体(1)の上面より突出し、先端放電線(12)をバーナー(3)に通常のガスコンロのように接近させ放電によりガスに点火できるようにしたものである。

(2)

これとは別に、下部に小型のガスポンベ<sup>13</sup>を挿入することができる空間を設けたガス噴射機構部材<sup>14</sup>の半円形の筒体<sup>15</sup>を形成し、且つ筒体<sup>15</sup>の間にはガスポンベ<sup>13</sup>のバルブ嵌合部<sup>16</sup>を下部に有するバルブ機構<sup>17</sup>を設け、バルブ機構<sup>17</sup>の側面にはガス噴射筒<sup>18</sup>を設けると共に、筒体<sup>15</sup>の平板状部<sup>19</sup>より外部に突出し、バルブ嵌合部<sup>16</sup>の中央孔<sup>20</sup>とガス噴射筒<sup>18</sup>のガス噴射孔<sup>21</sup>とを直角に連通し、中央孔<sup>20</sup>の中間でガス通路を小径にしバルブ杆<sup>22</sup>を挿通し、バルブ杆<sup>22</sup>は筒体<sup>15</sup>の上面より突出して摘子<sup>23</sup>が設けられ、摘子<sup>23</sup>の回転によりガスを通過停止できるようにしたものである。

更に又筒体<sup>6</sup>においてガス混合管<sup>4</sup>の位置する箇所に孔<sup>24</sup>を穿ち、該孔<sup>24</sup>にガス噴射筒<sup>18</sup>が嵌合できるようにしたものである。孔<sup>24</sup>にガス噴射筒<sup>18</sup>を嵌合した時ガス噴射孔<sup>21</sup>の中心とガス混合管<sup>4</sup>のガス通孔<sup>5</sup>の中心とが一致するようにしたものである。

又、筒体<sup>15</sup>の孔<sup>24</sup>にガス噴射筒<sup>18</sup>を嵌合した

(3)

して停止するものである。

本願は前記状態で摘子<sup>23</sup>を回転して適宜な方法でバルブ杆<sup>22</sup>を下降するとバルブ杆<sup>22</sup>の下端によってスプリング<sup>25</sup>を押すと中央にガス通路を有する板<sup>26</sup>が押されガスポンベ<sup>13</sup>の先端のトップバルブ<sup>27</sup>を押してガスを噴射し、同時にツマミ<sup>28</sup>を押すと圧電素子<sup>29</sup>が働き、先端放電線<sup>30</sup>より放電してガスに点火するものである。

筒体<sup>6</sup>の上部に外方に向け凸条<sup>31</sup>が設けられこれとは別に筒体<sup>15</sup>が接合する部分以外を切欠いた外筒<sup>32</sup>を形成し、外筒<sup>32</sup>の上部は内方に曲折され凸条<sup>31</sup>に掛止めできるようにし、その高さは筒体<sup>6</sup>がほとんど嵌合被覆できる高さとする。筒<sup>32</sup>はキャップである。

湯沸筒<sup>7</sup>に水又は牛乳等を入れ、バーナー<sup>3</sup>に点火すれば簡単に使用できるものである。

外筒<sup>32</sup>はバーナー<sup>3</sup>に点火すると筒体<sup>6</sup>が加熱されるので「やけど」等を防止するようにしたものである。

本願は図上のように中央にバーナーを有する

(5)

時、筒体<sup>15</sup>と筒体<sup>15</sup>とは適宜に密接接合できるように筒体<sup>11</sup>と筒体<sup>6</sup>において筒体<sup>15</sup>の平板状部<sup>19</sup>と接する面を同じように平板状部<sup>11</sup>(<sup>6</sup>)として筒体<sup>15</sup>と筒体<sup>15</sup>がよく密接できるようにしたものである。

取付ける構成としては底板<sup>8</sup>をガス噴射機構部材<sup>14</sup>の半円形の筒体<sup>15</sup>の下部迄延長して延長部<sup>33</sup>を形成し、底板<sup>8</sup>の両側を筒体<sup>15</sup>の巾の外側において上方に立上り<sup>34</sup>を設け(第4図参照)、且つ又、延長部<sup>33</sup>の先端に少し高めの山形状の凸起部<sup>35</sup>を形成し、上部の筒体<sup>6</sup>のガス噴射機構部材<sup>14</sup>を取付ける側に孔<sup>36</sup>を穿ち、筒体<sup>15</sup>を筒体<sup>6</sup>に取付ける側において筒体<sup>15</sup>上に上部鉤形の突起<sup>37</sup>を形成し、筒体<sup>15</sup>に筒体<sup>15</sup>を取付ける際には上部鉤形の突起<sup>37</sup>を孔<sup>36</sup>に嵌合して筒体<sup>15</sup>の下部を筒体<sup>15</sup>側に回転して立上り<sup>34</sup>間に筒体<sup>15</sup>を嵌合して底板<sup>8</sup>の延長部<sup>33</sup>に弾力があるので凸起部<sup>35</sup>の山形部を無理に下方方向に少し下げる状態にして押し込むと筒体<sup>15</sup>の後端部(第3図において右端部)が凸起部<sup>35</sup>の内部に嵌合

(4)

筒体の上部に湯沸し器を載置できるようにし、該筒体の側面に下部に小型のガスポンベを出入自在にし且つガスポンベバルブ嵌合部及びガス噴射筒を側面に突出したバルブ機構を内挿したガス噴射機構部材を前記筒体に着脱自在にすると共に、ガス噴射筒の噴射孔を筒体のバーナーのガス混合管のガス通孔の中心に位置するようにして成るので全体が小型で持ち運びが簡単でキャンプ、ハイキング、ドライブ等の際に幼児に与える牛乳又は粉ミルクをとくして与えようとする時に牛乳又は水を簡易に沸すことができるものであり、家庭においては一人だけコーヒー等を飲みたい時に簡単に一人分だけを沸すことができる等の特徴を有するものである。

#### 4 図面の簡単な説明

第1図は全体の平面図、第2図は第3図のA-A線断面図、第3図は第1図の横断面図、第4図は第3図のB-B線断面図である。

(6)

PAT-NO: JP356124818A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 56124818 A

TITLE: PORTABLE GAS COOKING HEATER

PUBN-DATE: September 30, 1981

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

ISHII, KUNIHICO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

KK AOYAGI SEISAKUSHO

N/A

TOMOE KOGYO KK

N/A

KK ASAHI BEBII

N/A

APPL-NO: JP55028964

APPL-DATE: March 7, 1980

INT-CL (IPC): F23D013/04, F24C003/14

ABSTRACT:

PURPOSE: To obtain a portable gas cooking heater which is handy and useful for camping and picnic, etc., by using such a design that a hot-water heater can be put on the top of a cylindrical body having a burner on the center and a small gas-containing cylinder can be freely put in and taken out from bottom section of side surface of this cylindrical body.

CONSTITUTION: A gas burner main body 2 is fixed on almost the center of top surface of a bottom cylindrical body 1, and a top cylindrical body 6 which is designed capable of being loaded with a hot-water heater 7 is fixed onto this cylindrical body 1. The bottom section of this cylindrical body 1 is provided with a thick bottom plate 8 made of plastics or metallic sheet, etc., and at the same time, a piezoelectric element 9 which can be moved up and down by operation of a knob 10 is fixed. A conductive wire 11 of the piezoelectric element 9 is made to stick out of top surface of the cylindrical body 1 and the gas burner main 2 is provided in the neighborhood of a burner 3 so that gas jetted out from the burner 3 can be ignited. On the bottom plate 8, a cylindrical body 15 to contain a gas cylinder 13 is provided in the

neighborhood of the cylindrical body 1 so that the gas in the cylinder 13 can be supplied to a gas mixing pipe 4 through a valve mechanism 17 operated by a knob 22.

COPYRIGHT: (C)1981,JPO&Japio